

全国植生調査データベース（H12-29 年度版）

1. 本データベースの構成

全国植生調査データベース（以下「全国植生調査 DB」という。）は、1/2.5 万植生図作成業務における植生調査データを整理したものであり、おもに「T001 調査地点一覧」、「T002 植物表（階層別種リスト）」のテーブルから構成されています。

※2つのテーブルは調査地点コード*1 を主キーとしてリンク。このほか「T003 全写真リスト」を整理。

(1) 「T001 調査地点一覧」

調査地点一覧には、1 地点 1 レコードとして以下の項目が記載されています（表 1）。

- 調査地点情報（調査地点コード*1、2次メッシュ、調査区分、ブロック、都道府県、市町村、緯度・経度等）
- 調査実施情報（調査者、調査年月日等）
- 凡例（植生区分、凡例、群落名称等）
- 階層区分（高木層～コケ層の優占種名、植被率、高さ等）
- 立地情報（海拔、方位、傾斜、地形、土壌等）
- 資料情報（既存資料引用の場合）
- 現地写真ファイル*2 のうち代表的な写真

(2) 「T002 植物表（階層別種リスト）」

植物表には、組成調査結果の出現種 1 種を 1 レコードとして調査地点コード*1、階層区分、被度、群度、種名が記載されています（表 2）。

- 階層区分（7層；高木層、亜高木層、低木層 1、低木層 2、草本層 1、草本層 2、コケ層）

*1 調査地点コード

- 調査地点コードは、管理コードと識別コードの組み合わせにより設定（全て半角数字の 23 桁表示）。
- 管理コードは、[2次メッシュ+調査区分]の組み合わせで管理。
- 識別コードは、[法人 ID+調査者 ID+年月日+連番]の組み合わせで管理。

例) 管理コード[2次メッシュ+調査区分]+識別コード[法人 ID+調査者 ID+年月日+連番]
→ 53394501001001010801001

項目	コード設定	桁数	例
2次メッシュ	標準地域メッシュの第2次地域区画のコード	6	533945
調査区分	優占種調査 1 ; 01、組成調査 ; 02、組成 (資料) ; 03 優占種 (資料) ; 04、優占種調査 2 ; 05	2	01
法人 ID	全国単位に設定する、法人の ID	3	001
調査者 ID	調査年度別法人単位に設定する、調査者の ID	3	001
年月日	年 (2桁) + 月 (2桁) + 日 (2桁)	6	010801
連番	[法人 ID+調査者 ID+年月日]別に振られる連続番号	3	001

*2 現地写真ファイル（写真ファイル名のつけ方）

- 全て半角の英数字・記号の 30 桁表示。
- 写真ファイル名は、調査地点コード、写真区分、連番、ファイル形式（拡張子）の組み合わせにより設定。

例) [調査地点コード+写真区分+連番]+[ファイル形式] → 533945010010010108010010101.jpg

項目	コード設定	桁数	事例
調査地点コード	上記に示す調査地点コード	23	上記参照
写真区分	外観 ; 01、林内 ; 02、林床 ; 03	2	01
連番	[調査地点コード+写真区分]別に振られる連続番号	2	01
ファイル形式	画像ファイルの拡張子	3	.jpg

表1 調査地点一覧のフィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
調査地点コード	調査地点名	2次メッシュコード	調査区分コード	調査法人コード	調査者コード	調査年	調査月	調査日	連番	
41286702004004091005001	YO1	412867	02	004	004	09	10	05	001	
11	12	13	14	15	16	秒は小数第1位まで記入		緯度原～経秒原の測地系。緯度～経秒はJGD2000		
緯度原	緯分原	緯秒原	経度原	経分原	経秒原					
17	18	19	20	21	22	23	24	25	優占種2位置	
緯度_NEW	緯分_NEW	緯秒_NEW	経度_NEW	経分_NEW	経秒_NEW	範囲外フラグ	入力測地系	優占種2位置*	1:対象の植生の位置 2:調査者の視点の位置 3:不明または未確認	
27	53	21.33	128	57	25.05	0	JGD2000	1		
*H28から追加										
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
ブロックコード	都道府県コード	群落名称(相観区分的な視点)	最高階層区分	最高階層優占種名	最高階層高さ	代表写真ファイル名	植生区分	凡例コード	凡例名	群落名
8	46	アダン群団	3	アダン	3.5	412867020040040910050010101.jpg	VI	390200	アダン群団	アダン群落
*数値型に変更										
37	38	39	40	41						
高木層優占種	高木層高さ	高木層植被率	高木層胸高直径	高木層種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
42	43	44	45	46						
亜高木層優占種	亜高木層高さ	亜高木層植被率	亜高木層胸高直径	亜高木層種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
46	47	48	49	50						
低木層1優占種	低木層1高さ	低木層1植被率	低木層1胸高直径	低木層1種数						
アダン	2-3.5	90	3-4	2						
*数値型に変更										
52	53	54	55	56						
低木層2優占種	低木層2高さ	低木層2植被率	低木層2胸高直径	低木層2種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
57	58	59	60	61						
草本層1優占種	草本層1高さ	草本層1植被率	草本層1胸高直径	草本層1種数						
トベラ	1	10		7						
*数値型に変更										
62	63	64	65	66						
草本層2優占種	草本層2高さ	草本層2植被率	草本層2胸高直径	草本層2種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
67	68	69	70	71						
コケ層優占種	コケ層高さ	コケ層植被率	コケ層胸高直径	コケ層種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
72	73	74	75	76	77	78	79	80		
調査面積	出現種数	市町村名	海拔	方位	傾斜	地形	土壌	風当		
5×5m ²	8	徳之島町	20	-	0	平地	その他(砂浜)	強		
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	
日当	土湿	資料No	資料名称	発行者	発行年	記載された群落名	記載ページ等	備考	調査年度	
陽	乾								2009	

表2 植物表のフィールド

1	2	3	4	5	6
調査地点コード	階層	被度	群度	種名	備考
41286702004004091005001	3	5	5	アダン	YO1
41286702004004091005001	5	1	1	トベラ	YO1
以下略					

2. 組成調査と優占種調査

全国植生調査 DB の調査データは組成調査と優占種調査に大別され、既存資料によるものを含め、5種の調査区分に分けられています。表3に組成調査・優占種調査と全国植生調査 DB のテーブルとの対応を示します。

(1) 組成調査

組成調査は、現在広く用いられている Braun-Blanquet (1964) による植物社会学的全推定法による全種調査資料 (アウフナーメ) に、環境省の植生図の凡例を記載したものです。組成調査データは「T001 調査地点一覧」と調査地点別の「T002 植物表 (階層別種リスト)」から構成されます。

(2) 優占種調査

優占種調査は、「T002 植物表 (階層別種リスト)」を省いた、環境省植生図作成業務独自の補足的な調査です。優占種調査1の相観調査と、優占種調査2の植生配分 (景観) 調査の2種類があり、優占種調査1・2のデータは「T001 調査地点一覧」に示されています。

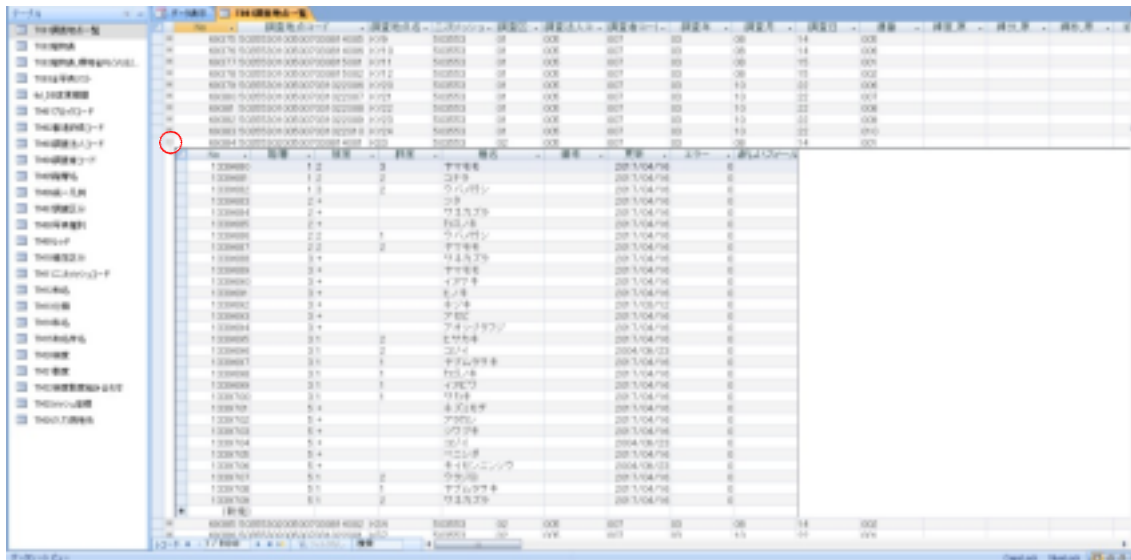
表3 調査区分と全国植生調査 DB のデータテーブル

調査区分 ID	調査区分名	内容	「T001 調査地点一覧」	「T002 植物表」	備考
01	優占種調査 1	相観調査	○	—	・ 植生図作成業務で独自に設定された「T002 植物表」を略した調査。
02	組成調査	植物社会学的な全種調査	○	○	・ 「T001 調査地点一覧」「T002 植物表」は調査地点コードでリンク。
03	組成 (資料)	既存資料から引用した組成調査	○	○	・ 「T001 調査地点一覧」の緯度経度や調査年月日が不明の場合がある。
04	優占種 (資料)	既存資料等による優占種調査	○	—	
05	優占種調査 2	植生配分 (景観) 調査	○	—	・ 植生図作成業務で独自に設定された「T002 植物表」を略した調査。 ・ 「T001 調査地点一覧」に中心となる植生を記録。 ・ 「T001 調査地点一覧」の緯度経度は①対象植生の位置と②調査者の位置 (視点位置) が混在しているので注意。

3. データ表示

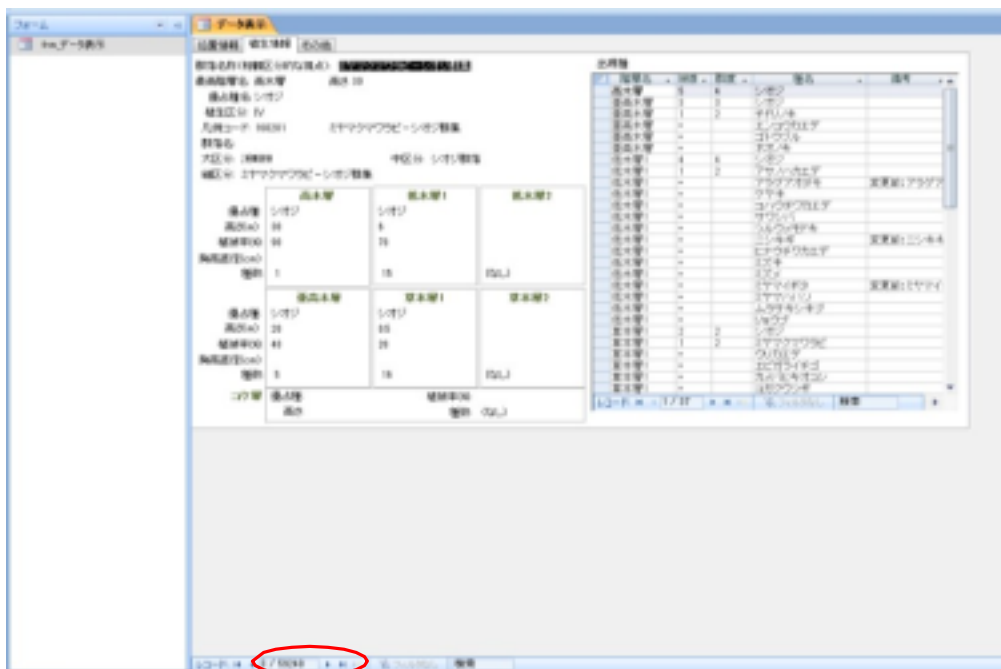
(1) テーブルから

組成調査のデータは、T001 の組成調査地点（調査区分02,03）の左端の「+」をクリックすると、T002 に収録されたデータが表示されます。※優占種調査地点（調査区分01,04,05）は空白行が表示されます。



(2) フォームから

フォームの「frm_データ表示」により、調査地点ごとのデータが「位置情報」、「植生情報」、「その他」タブで表示されます。調査地点は下方のレコードの No. により選択します。



その他の表示・解析を行うにはクエリーを作成してください。

4. ご利用にあたっての留意事項

全国植生調査 DB に納められている植生調査データは、調査当時のエラーデータ等に適宜修正を加えてあります。また、項目によっては間違ったデータが登録されている可能性があるため、今後もスクリーニング等を行い、適宜更新していく予定です。

ご利用の際は、以下についてご留意いただくとともに「5. 更新履歴」をご確認ください。

(1) 種名

種名はおもに環境省植物目録（1987 年版、1994 年修正版）により分類しています（グリーンリストは未使用）。

種名の精査は調査時に一部で実施していますが、全国的なスクリーニングは未了です。そのため、誤同定や入力ミスが含まれている可能性があります。

種名は和名のみで登録されているため、和名が同じで科名が異なる種は科名（学名）が不確かです。以下のような和名の異名統一や学名記載にはご注意ください。

例)

ID	目録	分類	科名	種名	学名
6	380	シダ植物	イワヒバ	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>
205	16140	離弁花類	ヒユ	ヒモカズラ	<i>Deeringia amaranthoides</i>
214	16520	離弁花類	クスノキ	チャノキ	<i>Cinnamomum pseudo-pedunculatum</i>
286	20800	離弁花類	ツバキ	チャノキ	<i>Thea sinensis</i>
775	54860	合弁花類	キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i>
780	55010	合弁花類	キク	ヨモギ	<i>Artemisia princeps</i>
822	58120	合弁花類	キク	ヂシバリ	<i>Ixeris debilis</i>
826	58300	合弁花類	キク	ヂシバリ	<i>Ixeris stolonifera</i>
964	69720	単子葉植物	イネ	ヂシバリ	<i>Phragmites japonica</i>
867	61650	単子葉植物	ユリ	スズラン	<i>Convallaria keiskei</i>
1056	79090	単子葉植物	ラン	スズラン	<i>Epipactis thunbergii</i>
951	68530	単子葉植物	イネ	チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>
967	69910	単子葉植物	イネ	チゴザサ	<i>Pleioblastus fortune</i>

異名（学名は同じであるが和名が異なる種）の統一は行っていません。異名を統一する場合は「TM15 和名学名」を参照してください。

(2) 希少種情報

希少種の位置情報等について、以下のように処理しています。

① 環境省レッドリスト2018 (RL) 掲載種 (VU 以上) 以上

対象範囲：全ての植生調査データ

処理内容：「T002 植物表_環境省 RL (VU 以上)」に位置情報を2次メッシュで示すとともに、「T001 調査地点一覧」の優占種項目から種名を削除してあります。

過年度に作成した全国植生調査データベース (H12-27 年度版) についても、最新の環境省レッドリスト2018で確認し、修正してあります。

② 東京都レッドデータブックの全掲載種

東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) 2010年版

東京都の保護上重要な野生生物種 (島しょ部) 2011年版

対象範囲：東京都の植生調査データ

処理内容：「T002 植物表_環境省 RL (VU 以上)」に位置情報を2次メッシュで示すとともに、「T001 調査地点一覧」の優占種項目から種名を削除してあります。

(3) 凡例名

凡例名の群落にローマ数字がついているものは次のような植生区分を示しています。

(例：アカマツ群落 (VII))

植生区分

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (III) コケモモトウヒクラス域代償植生 | (IV) ブナクラス域自然植生 |
| (V) ブナクラス域代償植生 | (VI) ヤブツバキクラス域自然植生 |
| (VII) ヤブツバキクラス域代償植生 | (VIII) 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等 |
| (IX) 植林地、耕作地植生 | |

群集は基本的に主要なクラス域の植生区分に位置づけて登録しています。

TM06統一凡例のテーブルに、全凡例のリストを示しています。凡例コード・凡例名によりそれぞれの植生区分・大区分・中区分・細区分が抽出できますので参考にしてください。

大区分：亜高山帯針葉樹林、落葉広葉樹二次林、砂丘植生、耕作地等 (群系)

中区分：ハイマツ群落、ミズナラ群落等 (優占種群落・群団)

細区分：シキミーモミ群集等 (群集)

※「T001 調査地点一覧」の調査地点における凡例について、植生図上の同じ位置における凡例と一致していない場合があります。理由として次のようなことが考えられます。

1) 植分が小面積であるため、植生図では周囲の凡例に含めて図示している。

2) 植生図を修正した際、植生調査データに凡例名の変更を反映させていない。

2000～2003年度二次林、2008年度北海道ブロック、2015年度関東ブロック北部等

3) 調査地点の緯度経度が間違っている。

(4) 市町村名

市町村名は調査当時のものです。

(5) 調査地点数・密度

現地調査データは計66,840地点、このうち植物社会学的な調査が実施された**組成調査地点は35,447地点**（資料調査1049地点を含む）です。2次メッシュあたりの調査地点数は調査年度・整備地域によりばらつきがあります。

5. 更新履歴

【平成 30（2019）年 3 月】平成30年10月公開

- ・平成28・29（2016・2017）年度に取得されたデータを追加し、種名の修正・不明種の削除を行いました。
- ・全データを見直し、次の修正を行いました。
 - 平成12-27年度のデータは、稀少種を第4次レッドリスト（2012.8.28）からレッドリスト2018（2018.5.22）に変更して稀少種処理を実施
 - 平成28・29年度のデータ（今回公開）は稀少種をレッドリスト2018として稀少種処理を実施
- ・T001のテーブルを見直し、次の修正を行いました。
 - 「優占種2位置」のフィールドを追加
 - 「〇〇層高さ」(m)の7層のデータ型をテキスト型から数値型に変更し、内容を修正
最高階層高さ、高木層高さ、亜高木層高さ、低木層1高さ、低木層2高さ、草本層1高さ、草本層2高さ、コケ層高さ
※例 '12~15→15, 1 5→15, 15m→15
 - 「〇〇層高さ」(m)を精査し(cm)単位で入力された数値を(m)単位の数値に変更
※例 250→2.5, 100→1, 44→0.44
 - H22（2010）中国四国ブロック等のデータについて、フィールドの関係からフィールドのずれと判断できるものを修正
 - 「〇〇層優占種」の誤記を修正し（不明は（ママ）と付記）、種名の区切りを「、」に統一
 - 東京都（東京都本土部、伊豆諸島、小笠原諸島）等のデータについて、T001のIDO_DMS, KEIDO_DMS, IDO_DBG, KEIDO_DBGの空白箇所を10進数の数値を記入
 - 東京都（小笠原諸島南硫黄島）の調査地点コードの調査区分を02→03に変更。T002も変更

【平成 29（2017）年 3 月】平成29年6月公開

東京都（東京都本土部、伊豆諸島、小笠原諸島）のデータを追加するとともに、全データを見直し、次の修正を行いました。

- ・種名の変更・削除
 - 誤記の修正
 - 文字表記の半角を全角に修正

- 不明種の削除 (sp. ○○属の一種 ?等)
- 総称の変更 (シイの一部→スダジイ/コジイ、クワ→マグワ)
- 調査対象外のコケ類・地衣類の種名を属名に変更。ただし、ミズゴケ類は種名を表記
(コケ類 (ムラサキミズゴケ)、地衣類 (ハナゴケ属) 等)
- ・植生区分の間違いを修正、植生区分の表記を半角大文字アルファベットに統一。
- ・H14 (2002) 中国四国ブロック (松江周辺) の調査地点 405 地点について緯度経度を修正。位置が確定できる箇所です一定方向にずれていたため、日本測地系 (旧測地系) 未変換とみなして世界測地系 (新測地系) に変換。
- ・ブロックコード 9-12 を修正。
- ・H25 (2013) 中部ブロックの凡例コード、凡例名の一部を植生図にあわせて振り替え。

【平成 26 (2014) 年 5 月】

次の誤記等を修正しました。

- ・種名 1 地点
- ・植生区分 IIII を III に修正 73 地点
- ・H23 (2011) 関東の県コード 427 地点
- ・公開中の調査地点テーブル chousapoint にあわせ、階層別優占種等を修正 多数

以上